

新年あいさつ



吹田市議会議員
藤木 栄亮



吹田市長
後藤 圭二



新年あけましておめでとうございます。
市民の皆様方には、すがすがしい新年をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

さて、北大阪健康医療都市(健都)における各街区の工事は着々と進んでおり、市民病院や駅前複合施設が年内に完成予定となるなど、健康・医療のまちがいよいよ始動の時を迎えます。

また、JRおおさか東線の新駅設置工事が進む南吹田地域や、団地の建て替えが進み新たな装いを見せる千里ニュータウンなど、市内のハード面におけるリニューアルは着実に進展しています。

このような中、本市の人口は昨年、37万人を超えました。全国的に人口減少の傾向が進む中であって大変喜ばしいことではありますが、一方で、保育園における待機児童や小・中学校の過大校問題なども生じており、未来をしっかりと見据えた対策が急がれるところです。

市議会といたしましては、今後とも、市民の皆様が安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、各種施策の決定にあたり、慎重かつ的確な判断を行っていく所存でありますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、実り多き一年となりますことを心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。
皆様が、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

全国で人口減少が深刻な問題となる中、本市の人口は増加が続き、37万人を上回りました。本市の強みを皆様のくらしに反映できまずよう先を見据えて市政を推進して行かなければならないと、重く受け止めています。

人口増加に伴う待機児童対策に、この3年間で70億円を投入し、平成31年4月までに2200人以上の保育枠を確保する決断を致しました。既に効果が現れ始めています。今年は、公園などの市有地で大規模な認可保育所を開設するとともに、認定こども園を設置するなど、本格実施となります。

北大阪健康医療都市(健都)では今春に健都レールサイド公園が完成、秋にはついに市民病院が開院します。国立循環器病研究センターの移転を来年に控え、全国に誇る健康・医療のまちづくりが始まります。また、大規模災害時に市民の命を救う高度救助隊を発足、救急隊もさらに増隊し、吹田市の消防救急力は完成段階を迎えています。

育児や就労のかたち、少子高齢化など社会が変わり行く中、市民の皆様が安心して豊かにお暮らしいただけるよう、「法にかない、理にかない、情にかなう」姿勢で、本年も高質なまちづくりを進めてまいります。

皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。